

センターだよりー林檎ー

りんご

放送大学青森学習センター・八戸サテライトスペース



令和元年10月発行



青森学習センター職員



令和元年度 祝卒業・入学 りんご 100号発刊記念



- 2 | 巻頭言：『林檎ーりんごー』第100号の発刊に寄せて
- 3 | 令和元年度第2学期入学者のつどい・全学生必見！学生生活をスムーズに送るために
- 4 | 令和元年度第1学期学位記授与式と学生表彰・卒業生のことば
- 6 | 放送大学学生研修旅行～種差海岸散策～
- 8 | 2019年度公開講演会実施報告〈黒石市・青森市開催〉

- 9 | ～学生生活をもっと楽しく！～各種学生団体のごあない
- 10 | 2019年度第2学期学習相談とゼミのごあない・1学期のできごと
- 11 | 10・11・12・1月のスケジュール
- 12 | 事務室からのお知らせ



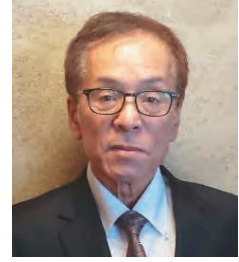
放送大学青森学習センター
ホームページ
放送大学青森
センターからのお知らせ

巻頭言

—かんとうげん—

「林檎—りんご—」 第100号の発刊に寄せて

青森学習センター所長 浅野 清



創刊号の「林檎」が手元にある。

平成6年1月の発刊。

「青森ビデオ学習センター」（青森学習センターの当初の名称）が設立された翌年にあたることを考えると、新しい組織が出発したばかりで忙しい最中、例え全10ページでも大変な作業だったのではないかと容易に推察される。「創刊号」の文字と発刊日、そしてたわわに実るリンゴと岩木山の美しい写真が表紙を飾っているがB4の模造紙のせいか、とても手作り感がある。当時は確かまだワープロの時代だったはず。切り貼りやコピーを駆使して作ったに違いありません。

表紙をめくると初代所長の牧野吉五郎先生の挨拶文である。牧野先生がどういう人かご存じだろうか。日本近代教育史の研究者であり、弘前大学の第10代学長（昭和57.2.1～61.1.31）を務め、その後教育学部を退職されたのがいつかは分かりませんが、センター設立に尽力した主要人物の一人だと聞いています。私が弘前大学に赴任した昭和62年当時、牧野先生はまだ教育学部に勤務していて、新任講師の私にとっては雲の上の人という存在でした。

さて、創刊号の挨拶文は『当センターで学ぶ人達の力の結集が、豊潤にして香ばしい機関紙「林檎—りんご—」を守り、育てながら、自らもまた成熟されんことを、心から切に願ってやまないものがあります』という言葉で結ばれています。初代センター所長の思いを胸に刻み、今後も学生の皆さんのお手伝いをしていきたいと思ひます。



りんご 創刊号

令和元年度第2学期入学者のつどい

2019年10月5日（土）と10月6日（日）の両日、青森学習センターと八戸サテライトスペースにて令和元（2019）年度第2学期入学者のつどいが行われました。放送大学学歌演奏や学長挨拶のDVD上映、センター所長式辞、新入生と在学生代表の挨拶、学友会会長祝辞、教職員紹介のほか、オリエンテーションや施設見学などを行いました。



（上）新入生の挨拶
（左下）在学生の挨拶
（右下）図書室・視聴学習室の利用方法について説明を受ける新入生

10/5（土）青森SC



（上）新入生の挨拶
（左下）在学生の挨拶
（右下）客員教員の紹介

10/6（日）八戸SS



全学生必見！学生生活をスムーズに送るために

新学期を迎え、これから放送大学での学習を始める新入生・在在学生の方へのお知らせです。

■活用しよう「学生生活の栞」と「利用の手引き」

「学生生活の栞」および「利用の手引き」は、履修に関するきまりや、住所変更、証明書発行などの各種届出様式ほか、学生生活を送るうえで重要な事項が満載の冊子です。

新入生も在生も大切に保管のうえ、よく読んでご活用ください。

※「利用の手引き」は、放送教材の貸出方法や青森SC駐車場の件など、2018年度版から変更になった箇所も多数あります。ぜひご一読を！



■学生証の受け取りはお早めに

学生証は、図書室・視聴学習室の利用や面接授業の追加登録申請、単位認定試験を受験する際に必ず使用しますので、お早めに受け取りを済ませてください。

学生証の交付は、原則として青森学習センター・八戸サテライトスペースの事務室窓口にて行っております。

受け取りの際には、新規入学・継続入学生は入学許可書を、在生で学生証の有効期限切れの方は有効期限切れ学生証をお持ちください。

なお、大学本部へ顔写真を登録していない方は学生証の発行ができませんので、システムWAKABAの「学生カルテ」または「学生生活の栞」巻末様式の「写真票」使用にて速やかに登録してください。

■学生教育研究災害傷害保険（学研災）への申込み（任意）

教育活動中や通学中における事故補償のための保険です。放送大学では通信教育に区分されており、保険料は100円、通学中の特約を含む場合は140円となります。保険期間は、入学後から学籍が続く限り最大6年間となります。詳細につきましては、新入生の方は先に送付の『「学研災」のごあんない』にてご確認ください。



令和元年度第 1 学期学位記授与式

令和元(2019)年度第 1 学期学位記授与式が、10月5日(土)青森学習センター、10月6日(日)八戸サテライトスペースにて行われました。今回、教養学部卒業を迎えた方は、青森 SC・八戸 SS をあわせて 24 名。式当日は出席者ひとりひとりに浅野所長から学位記が授与されました。

卒業生の皆様、このたびはおめでとうございます！！



青森学習センター



八戸サテライトスペース

★令和元年度第 1 学期 卒業生の内訳 (青森計 16 名 八戸計 8 名)

- ・青森 SC 教養学部 生活と福祉…2 名／心理と教育…10 名／社会と産業…1 名／人間と文化…3 名
- ・八戸 SS 教養学部 生活と福祉…1 名／心理と教育…4 名／社会と産業…2 名／自然と環境…1 名



第 6 回放送大学青森学習センター学生表彰

青森学習センター・八戸サテライトスペース所属学生の生涯学習に対する奨励を目的として、平成 26 年度より「放送大学青森学習センター学生表彰」を行っています。

今回は、青森学習センターの卒業生 1 名が受賞者となり、長年にわたり学業に励んだ功績を称え、所長から表彰状と記念品が授与されました。

このたびはおめでとうございます。今後も飽くなき向学心で学業に励んでください！！



卒業生のことば

「2 度目の卒業」.....

八戸サテライトスペース 心理と教育コース 小山 裕也

放送大学での 2 度目の卒業を無事に迎えられました。

1 度目の卒業を目指していた時とは違い、卒業を急ぐ理由もなく、仕事の忙しさにかまけて学習をおろそかにし、単位を全く取れない学期もありました。それでも、こうして卒業を迎えられたのは学友はじめ事務スタッフの皆さんのサポートのおかげです。ありがとうございます。

「魅力的な放送大学」.....

青森学習センター 心理と教育コース 今 優子

好きな時間に、好きな科目を学び、面接授業では全国各地の学習センターで授業を受ける事が出来ました。たくさんの方々と出会い、いろいろな事を学ぶことが出来る。こんな魅力的な大学は放送大学だけです！面接授業を選ぶ時のワクワク感がとても好きでした。

次のステップに進みたく、青森学習センターの皆様にはいろいろアドバイスを頂き、助かりました。ありがとうございます。仕事と両立することを理解してくれた家族にも感謝！感謝です！

卒業生のことば

「卒業にあたって」

青森学習センター 生活と福祉コース 鈴木 登

この度、「センターだより『りんご』第100号」の記念号に掲載されることに、また、令和に入って第1期卒業生になることは、二重に喜ばしく思います。

放送大学に入学して、約20年、みなさんの支えがあって、やっと卒業できることになりました。有難う御座いました。最初の10年間は千葉学習センターにお世話になり、仕事との両立はとてみたいへんでした。青森の母親が高齢になって介護が必要になり、また自分の体調不良で、青森の実家に帰り、青森学習センターにお世話になりました。介護と仕事をしながらの勉強で、苦手の外国語では、悪戦苦闘しました。今後は継続入学で他コースを学び知識を広めたいと思っています。スタッフの皆様、今後共、お世話になります。

「新知識」

八戸サテライトスペース 自然と環境コース 田崎 昇

放送大学に在籍してから、先生方のご指導や事務所の皆さん方そして仲間の方々には大変お世話になっています。皆さまの支えがあって卒業することができました。感謝です。

選択コースを勉強するとともに、自分の好きな宇宙に関する科目を探し、続けて学んでいます。教材のページをめくり新知識を得るのがとても楽しみです。加齢とともに記憶力が衰えてきましたが、これからも楽しさを求めて継続入学です。

「『学ぶこと』は私の生きがい」

八戸サテライトスペース 生活と福祉コース 三上 美緒

「学びたい」という思いから放送大学に入学しました。仕事との両立は大変でしたが、皆様に支えられて卒業まで頑張ることができました。あっという間の6年間でした。学習センターの優しい職員さんや個性的な先輩方、放送大学に入学して素敵な出会いがたくさんありました。また、文化祭等の行事では楽しい思い出をつくることができました。とっても幸せです。

これからも放送大学で様々な事を学びたいです。

「本当にありがとうございました！」

「頑張りました。」

青森学習センター 心理と教育コース 笹嶋 咲遥

看護学校と仕事と放送大学と！忙しい毎日でしたが今回、放送大学を卒業することができました。

最初は私にできるのか、大丈夫かと心配なこともありましたが、クラスの友人とも協力しあいこまできました。心理と教育コースには、看護にも通じる部分があり、たくさんのことを学ぶことができました。学んだことは一生のものになるので、臨床の場でも生かしていきます！

卒業生たちの実りの秋



学位記授与式スナップ集

放送大学学生研修旅行

種差海岸遊歩道散策

～海風を感じて種差の自然と環境に触れてみませんか～

2019年9月14日(土)、放送大学学生研修旅行が行われました。今回の行き先は八戸市東部、太平洋に面した種差海岸です。

三陸復興国立公園(2013年指定)内の遊歩道を、ガイドさんとともに散策しました。



葦毛崎展望台～大須賀海岸

葦毛崎展望台は、岬に突き出た砦のような建造物で、西洋の古城のようなどこかファンタジックな魅力をかもし出す展望台です。太平洋を一望する眺望も最高です。

美しい岩礁地帯の「中須賀」を抜け、「釜の口」の大岩を通り過ぎると広大な砂浜の「大須賀海岸」に出ます。この海岸は、踏みしめるとキュッキュッと音の鳴る「鳴砂」が特徴ですが、不純物の少ない綺麗な砂浜である証拠です。



種差海岸

なだらかな起伏の「種差天然芝生地」は、種差海岸を代表する景観で、海沿いの険しい岩礁とのコントラストが美しい芝生の風景は、まるでスコットランドの海岸のような異国情緒を感じさせます。

「種差海岸インフォメーションセンター」では、模型や映像など様々な手法で学ぶことができます。また、隣にある「種差海岸休憩所」では、軽食やスイーツなどオリジナルメニューが楽しめます。



感想

研修旅行に参加された方々の感想をご紹介します♪

『海岸沿いをガイドさんの説明を聞きながら、歩いたのでとても勉強になりました。花に関して説明を聞きながら歩いたので、より楽しく散策できました。お昼に行った種差海岸インフォメーションセンターの近くでは、きれいな海を見ながら、食べることができました。参加できてよかったです。』

『たいへん素晴らしい研修旅行でした。東海岸の自然に触れ合うことができ、大満足です。ガイドの方は海岸や植物が本当に大好きで、自然を保護しなければならないという熱い思いが伝わってきました。植生は非常にデリケートであり、草花の一本一本を大切にしなければならない事を強く認識しました。』

『石を積み上げた要塞のような葦毛崎展望台からは太平洋が一望でき、地球が丸いことを感じられるすばらしい場所でした。又、展望台から大須賀海岸までの遊歩道 900m はガイドさんの案内でした。海浜・陸地・砂地の植物が色とりどり、この場所ではしか見られない花など丁寧に案内してくれました。今回、研修旅行に参加することができ、貴重な体験ができた良い一日でした。有難うございました。』

『人生初めてのボランティアガイド案内での種差海岸散策でした。野生植物の種類の多さと美しさに感動でした。ゆったりとした心地よい時間とともに、自然のありがたさに感謝の一日でした。ありがとうございました。放送大学の活動の一環として研修旅行がある事を知り良かったです。』

次ページへつづく ⇒

感想



『葦毛崎展望台から種差海岸沿いに遊歩道を歩く間、天候にも恵まれ太平洋に面した海の景観が心地良く、多少風があったものの外に出て学習する喜びが味わえる楽しい研修旅行になりました。普段、なにげなく目にする草花や見逃してしまう野辺に、各々の呼び名が由来を持って、何を縁にしてか寄り添い群落する光景は、改めて興味深いものでした。そして、草花の縁にも増して人々（著名人 etc.）と土地との縁にも深く感じるものがありました。ありがとうございました。』

『大変お世話になりありがとうございます。天候にも恵まれ、気持ちの良い1日を過ごすことができました。季節的なこともあり、実際に咲いている花を觀賞できていたら、更に有意義だっただろうな、という思いはありましたが、普段は触れることのない海岸線をゆっくりと歩き、気分もゆったりとし、ストレスも解消された気がします。昼の休憩時間では、昼食を持参して行った方が、もっと時間をうまく使えたのかな、と思っています。』

『今回初めて参加させていただきました。種差海岸には何度か足を運んだことがありましたが、遊歩道や海岸、周りに咲いている花などについてガイドさんから説明を頂き、いままで知らなかった種差海岸を知ることができ、まさに1年中満喫できる良い場所だと思いました。学生の皆さんとの交流もでき、とても有意義な時間を過ごすことができました。』



種差海岸の
“モアイ像(?)”

『晴天の9月14日に行われた、八戸市種差海岸への放送大学研修旅行は、学生及びその家族の方々、学習センターの方々合わせて26名の参加がありました。葦毛崎展望台から大須賀海岸へはガイドの案内による、海岸に咲く花々の説明が行われました。0.9kmの海岸線を1時間10分かかけゆっくり散策し、本当に美しい海と青い空と芝生の緑に魅了されました。初めての街での新しい発見は何才になってうれしいものでした。』

『初めての葦毛崎展望台からの遊歩道探索は、植物に興味のない私にもガイドさんの具体的な説明を受け、エッセイ研究者のように楽しく勉強ができ、有意義な研修旅行ができました。途中はまなすの実を初めて食べる経験もできました。あまり美味しくなかったのでも口からはき出したのですが、それが災いしたのか昼食が集合時間に間に合わず、食いっぱぐれてしまいました。食べ物は大事にしないとね。』

『きれいな海の景色をみながらのガイドさんの草花の説明はとても楽しいものでした。でも、事前に下調べをしていけば、もっと興味深く、記憶に残るものになったと思うと少し残念です。あまり時間はありませんでしたが、今度は個人で種差海岸を訪れたいと思います。』



突然変異、
ピンク色の
はまなすです

『種差海岸の良さ、すばらしさを体感出来ました。地元になればなるほど、「どこが良いのかと思う」と親戚の人に先日言われました。ガイドの方の引きこまれる丁寧なお話に集中出来ました。今年、種差で面接授業を受け、さらに知りたいこと学びたいことが増えました。独学だけでは得られないもの、参加された皆様との交流もあります。ありがとうございました。白浜遺跡、大須賀、白浜は自力で行ってみます。』

● 行程 ●

弘前市の青森学習センターを出発し、八戸サテライトスペースを経由して、葦毛崎展望台に向かいました。3グループに分かれて大須賀海岸までの遊歩道をガイドさんと一緒に散策し、お昼休憩のあと帰路につきましたが、17時過ぎには弘前市に到着しました。

毎年、センターだよりりんご7月号の送付とともに研修旅行のお知らせをしております。青森学習センターと八戸サテライトスペースの学生さん同士、親睦を深められる良い機会ですので、日帰りバス旅行に、次回ぜひご参加ください★

公開講演会レポート

7/10
(水)

「青森の食材と健康」

講師：加藤 陽治氏 (弘前大学名誉教授) / 黒石市産業会館



青森の主要な農水産物の紹介と食べ物の働きについての基本的な見方から始まり、品目ごとにその成分と効能について解りやすく、そして科学的な裏付けを示しながら話を続けました。最初はナガイモ。アミラーゼ(澱粉加水分解酵素)活性重量が他の野菜の追従を許さないこと、そして抽出液のA型、B型インフルエンザウィルス増殖抑制作用があると紹介しました。次いでトマト。成分であるリコピンの働きが最大限に引き出されるのは朝であること、他の食品との食べ合わせについても提言が示されました。

ゴボウに含まれる食物繊維には便秘の予防、大腸ガンを防ぐ一般的な働きはもちろんのこと、抗酸化作用があるポリフェノールの量が多く含まれていること、そして8月に購入し3か月間冷蔵庫で保存すると良いなど、食生活への助言までいただきました。

次のカシスは先生の最近の主要研究対象。ベリー類と比較してその栄養素含有量の高さ、抗酸化力の強さ、カシスアントシアニン摂取による眼精疲労・血流・肌の黒みの改善など、続いて紹介されたサケ鼻軟骨から抽出されるプロテオグリカンの日焼け予防効果を含め、特に女性には気になる情報のようで、質問が相次いで起きました。

食品構成成分の糖質(炭水化物)や植物細胞壁成分の機能性を研究してきた先生だからこそ的確な情報、そして人柄の温かさに溢れた講演会になりました。

8/29
(木)

「青森の伝統工芸」

講師：石川 善朗氏 (弘前大学教授) / 県民福祉プラザ



「青森の伝統工芸」と題した講演会が青森市の県民福祉プラザ県民ホールで行われました。講師は弘前大学教育学部美術教育講座の石川善朗先生。先生は青森県工業試験場に18年間勤務し、弘大に赴任してからもブナコ照明電気器具などをはじめ、世界に発信できる多くの津



軽発新ブランドのデザイン開発に関わっています。講演は約300人の参加者をお迎えして始まりました。伝統工芸品には大きくは一品物と量産品に分かれ、人間国宝によって作られる美術工芸作品、伝統工芸品、クラフト製品、民芸品に分類されていること。続いて工芸品と製品の、伝統と伝承について問題点等を指摘しながら解りやすく説明をしてくれました。衝撃的な事実会場がどよめきました。平成30年11月現在の経済産業大臣が指定する全国の伝統工芸品232品目のうち、青森県は最下位の1品目「津軽塗」を有するだけだという事実を突きつけられたからです。私たちの身の回りにある津軽塗、津軽こぎん刺し、下川原焼土人形、津軽凧、八幡馬、南部裂織などをもっと生活の中に取り入れていかないと、このまま伝統工芸士も育たず、工芸品は姿を消してしまうことにもなってしまいます。

開催予定の公開講演会

どうすべ？農産物のこれからの販売戦略とその悩み

～「ブランド」「商標とクラブ制農産物」「GLOBAL G.A.P. 認証」などを考える～

11月9日(土) 13:30～15:00 会場 つがる市立図書館(セミナー・学習室)

講師 V.L. カーペンター氏(弘前大学名誉教授・放送大学青森学習センター客員教員)

映画は みんなのもの

11月30日(土) 13:30～15:00 会場 青森学習センター講義室

講師 三上雅通氏(弁護士・NPO法人 harappa 理事長)

学生生活をもっと楽しく!各種学生団体のごあんない

青森同窓会

「同窓会からのお知らせ
&同窓会をよろしくお祈いします」

青森同窓会会長 関川 宏明

同窓会では、5月11日に定例総会を青森学習センターで開催したほか、9月21・22日には、他同窓会との交流事業である東北・北海道ブロック同窓会交流会(福島学習センター開催)に参加しました。

また、年末には、卒業生・修了生を囲んでの祝賀会を開催するほか、それに先立ち、「在学生に向けた卒業生・修了生の学習相談&体験講話会」を開催する予定です。詳細が決定しましたら、学習センター・サテライトスペースのご協力を得てお知らせしますので、多くのご参加をお待ちしております。

今後も、同窓生・在学生が交流を深める機会を作っていきますので、よろしくお祈いします。



卒業生祝賀会の様子(→)

学友会

「学友会に入りましょう!!
『Face to face』がコミュニケーションの基本?」

学友会会長 田澤 豊

多くの入学者が、いずれやってくると思われる学習の行き詰まり。でも、そこであきらめてはいけません。仲間とのコミュニケーションを図ること、他の学生との繋がりを持つことです。先輩などが、悩みの解決方法を知っているかもしれません。また、時には息抜きも必要です。是非、学友会に入り、充実した学生生活を自分なりに見つけませんか。そのため、コミュニケーションを図る場として、春は、弘前城で「観桜会」、秋は「そば打ち」を毎年恒例行事とし開催し、そのほかにも随時行事を行い会員相互の親睦と情報交換を行っております。

いまは、人と人のコミュニケーションの取り方が、多種多様になってきていますが、「Face to face」が基本ではないでしょうか。

学友会への参加をお願いします。申込受付はセンター事務室にお願いしております。



「そば打ち」体験でのひとコマ(→)

ミステリーサークル

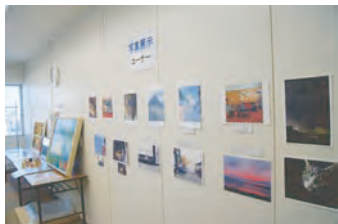
「八戸ミステリーサークル・会員募集!」

ミステリーサークル総長 上野 光弘

通信制大学は、卒業まで強い意志が求められます。ミステリーサークルは、学生相互の研鑽、親睦と交流を目的に活動しています。会費は無料です。学習相談も実施しております。一人であれこれ考えるよりも実際に体験した先輩から話を聞くことが有利なことも多いです。お互いに刺激を受け、励ましあえる仲間を作ることをお勧めします。

入会したい方は、サテライト事務にご連絡下さい。

月に一回ペースで部屋を確保して活動しています。その時には、お子さん連れやお友達とご一緒でも大丈夫ですので、ぜひ一度遊びにいらしてもらえたらと思います。



文化祭での
写真絵画展(→)

サイコロサークル

「サークル(睡眠勉強会)の紹介」

今回は睡眠をテーマにした勉強会を紹介します。講師は「睡眠と健康」を受講したのがきっかけで、睡眠健康指導士上級を取得したばかりの学生(書いている本人)です。睡眠は脳や身体を作り、修復し、知識などを整理・定着させて、翌日に最適な活動が出来るように脳や身体の健康を保つための大切な機能です。加齢と共に変化しますから、「老人の行動心理」にも関係します。準備では当日ギリギリまでドタバタしました。先生をはじめ皆さんの真剣な聴講で質問も多々ありました。不眠症状の発生や改善では先生の専門の分野の学習理論でご指摘もあり、緊張と笑いの連続でしたが、何とかやり切りました。講師役の体験で、知識を一層確固たるものに出来たことや要点をわかりやすく伝える工夫など大変有意義な機会を頂きました。これからも、いろんなテーマにチャレンジしていくと思います。これも先生の好奇心と積極的な応援のおかげです。



平岡先生との勉強会の様子(→)

※上記4団体に入会ご希望の方は、青森学習センターまたは八戸サテライトスペースへお問い合わせください。

★学生団体の設立について★

学生が研究やスポーツなどのため、サークル・学生団体などを結成しようとするときには、学生(科目履修生・修士科目生以外)の中から責任者を定め、「学生団体設立願」等を4月又は10月に責任者が所属する学習センターへ提出し、設立の許可を受ける必要があります(詳細「学生生活の葉」教養学部版 P122参照)。詳細については、青森学習センター事務室へお問い合わせください。

2019年度第2学期 学習相談とゼミのご案内

★学習相談またはゼミを希望する場合は、事務室へお申し込みください（電話でも可）。

ゼミ日程等詳細につきましては、事前にお送りした「2019年度第2学期10月～3月の学習相談とゼミについて」案内チラシにてご確認ください。

青森学習センター	火 土	浅野 清 所長	ゼミ 「ピアニストとピアノ音楽の歴史(続)」
		学習相談 毎週火～土曜日(祝日を除く)	指定の土曜日 10:30～12:00
	火	カーペンター ビクター リー 先生	ゼミ 「英語で文書作成する」
		学習相談 毎週火曜日 13:30～15:30	指定の火曜日 14:00～15:00
	水	青山 正和 先生	ゼミ 「植物と土」
		学習相談 毎週水曜日 10:00～12:00	指定の水曜日 10:30～11:30
		水田 智史 先生	ゼミ 『「生命のからくり」を読む』
		学習相談 毎週水曜日 12:30～14:30	指定の水曜日 13:00～14:00
	木	尾崎 名津子 先生	ゼミ 「文学を通して都市空間を考える」
		学習相談 毎週木曜日 10:30～12:30	指定の木曜日 11:30～12:30
金	藤田 あけみ 先生	ゼミ 「看護学」	
	学習相談 毎週金曜日 14:15～16:15	指定の金曜日 14:30～15:30	
	平岡 恭一 先生	ゼミ 「老いと行動心理学」	
水	学習相談 指定の金曜日 16:30～18:30	指定の金曜日 16:30～17:30	
	内海 隆 先生 ※青森明の星短期大学で開催	ゼミ 「子ども論と教育」	
水	学習相談 指定の水曜日 14:30～16:30	指定の水曜日 15:00～16:00	
	火	根城 隆幸 先生	ゼミ 「貧困を考える」
学習相談 毎週火曜日 14:00～16:00		指定の火曜日 14:30～15:30	
水	若生 豊 先生	ゼミ 「今日の生命科学と社会」	
	学習相談 毎週水曜日 15:00～17:00	指定の水曜日 15:10～16:10	

できごと

『大学の窓』で面接授業が紹介されました

2019年度第1学期に、八戸サテライトスペースで開講された面接授業「環境と生物～種差海岸で考える～」が、放送大学の情報番組『大学の窓』で放送されました。



【9月23日(月)より放送】

青森大学との単位互換協定締結

2019年7月23日、放送大学と青森大学の単位互換協定締結式が行われました。式には、來生新放送大学学長と浅野清青森学習センター所長が出席しました。協定校はこれで全国401校目となります。



(左から) 青森学習センター所長、放送大学学長、青森大学学長(金井一頼氏)、青森大学副本部長(穴戸聡純氏)

10月・11月・12月・1月のスケジュール

■ 閉所日
 ■ 面接授業
 ■ 試験
 ■ 通信指導提出締切

10月	月	火	水	木	金	土	日
		1	2	3	4	5	6
	7	8	9	10	11	12	13
	14	15	16	17	18	19	20
	21	22	23	24	25	26	27
	28	29	30	31			

11月	月	火	水	木	金	土	日
					1	2	3
	4	5	6	7	8	9	10
	11	12	13	14	15	16	17
	18	19	20	21	22	23	24
	25	26	27	28	29	30	

12月	月	火	水	木	金	土	日
							1
	2	3	4	5	6	7	8
	9	10	11	12	13	14	15
	16	17	18	19	20	21	22
	23	24	25	26	27	28	29
	30	31					

1月	月	火	水	木	金	土	日
			1	2	3	4	5
	6	7	8	9	10	11	12
	13	14	15	16	17	18	19
	20	21	22	23	24	25	26
	27	28	29	30	31		

- 年末年始閉所 …12月29日(日)～1月3日(金)
- 臨時閉所 …1月4日(土)・1月24日(金)・1月31日(金)
- 入構規制のお知らせ …1月18日(土)～19日(日)は、弘前大学で大学入試センター試験実施のため、自動車での入構は一切できません。青森学習センターへお越しの際は、公共交通機関をご利用ください。また、入構時には学生証の提示を求められる場合がありますので、必ずお持ちください。

10月

- 5日(土) 2019年度第1学期学位記授与式・2019年度第2学期入学者のつどい(青森)
- 6日(日) 2019年度第1学期学位記授与式・2019年度第2学期入学者のつどい(八戸)
- 19日(土) 2019年度第2学期面接授業空席発表(12時)追加登録事前申請受付開始(～10/24)
- 25日(金) 2019年度第2学期面接授業追加登録先着申請受付開始(～各科目の受付期限まで)
- 25日(金) 教員免許更新講習(冬期)受付開始(～11/22)

■面接授業■

- 19日(土)～20日(日) 「寺山修司 詩・短歌・俳句を読む」(青森) 「経済の地方特性について」(青森) 「デザインの気づきデザインの体感」(八戸) 「環境と気候変動を科学する」(八戸)
- 26日(土)～27日(日) 「建築を科学する/材料と施工」(八戸)

11月

- 8日(金) 2019年度第2学期通信指導提出受付開始(WEB、10時～)
- 15日(金) 2019年度第2学期通信指導提出受付開始(郵送)
- 22日(金) 教員免許更新講習(冬期)受付締切(17時まで)
- 25日(月) 単位認定試験受験センター変更願提出締切(郵送本部必着)
- 26日(火) 2020年度第1学期出願受付開始(WEB・郵送)(～3/17、教養学部、大学院修士選科生・修士科目生)
- 29日(金) 2019年度第2学期通信指導提出締切(郵送は本部必着、WEBは17時まで)

■面接授業■

- 9日(土)～10日(日) 「脳による感覚と認知のメカニズム」(青森) 「環境問題に対する化け学の役割」(八戸)
- 16日(土)～17日(日) 「英米文学の世界」(青森) 「がん、がんによる死を防ぐために」(青森) 「精神保健医療と援助の基礎」(八戸)
- 30日(土) 「はじめからのパソコン操作」(青森) 「心理学実験1」(八戸) 「是川遺跡からわかる縄文文化」(八戸)

12月

- 2日(月) 単位認定試験受験センター変更願提出締切(WEB24時まで)

■面接授業■

- 1日(日) 「はじめからのパソコン操作」(青森) 「心理学実験1」(八戸) 「是川遺跡からわかる縄文文化」(八戸)
- 7日(土)～8日(日) 「心理学実験3」(青森) 「近世北奥地域の造船動向と海運」(青森) 「裁判員のための法的思考(刑法)」(八戸)
- 14日(土)～15日(日) 「岩木山をめぐる自然と生活4」(青森) 「生涯スポーツの現状と課題」(八戸)
- 21日(土)～22日(日) 「上京、Uターン、観光の人類学」(青森)

1月

- 4日(土) 臨時閉所日 ※青森・八戸
- 21日(火) 2019年度第2学期単位認定試験(大学院)(～1/22)
- 23日(木) 2019年度第2学期単位認定試験(教養学部)(～1/30)
- 24日(金) 臨時閉所日 ※青森・八戸
- 31日(金) 臨時閉所日 ※青森・八戸

■面接授業■

- 11日(土)～12日(日) 「身近な素材で楽しむ英語」(青森)



事務室からのお知らせ



通信指導を提出しましょう（詳細「学生生活の栞」教養学部版P 6 8、大学院版P 6 3参照）

通信指導を提出し、合格して初めて単位認定試験の受験資格が得られます。未提出あるいは提出期限までに到着しなかった場合は評価の対象とはならず、単位認定試験が受けられませんので、余裕を持って提出してください。
11月5日までに通信指導問題が届かない場合は、大学本部（総合受付 TEL:043-276-5111）に連絡してください。

- ★提出期間 ・「Web 通信指導」…11月8日(金) 10:00 ~ 11月29日(金) 17:00
- ・郵送…11月15日(金) ~ 11月29日(金) ※大学本部必着



受験センター変更をご希望の方へ（詳細「学生生活の栞」教養学部版P 7 2、大学院版P 6 7参照）

単位認定試験は、原則として所属学習センターにおいて受験することになりますが、転勤・転居等のやむを得ない事情および通勤・通学等地理的な関係等のため、所属学習センター以外での受験が便利な場合は、受験センターの変更手続きをしてください。

★手続き方法と受付期間

- ・システム WAKABA での手続き
- …10月1日(火) 9:00 ~ 12月2日(月) 24:00
- ・『単位認定試験受験センター変更願』（「学生生活の栞」巻末様式）での郵送手続き
- …10月1日(火) ~ 11月25日(月)
- ※大学本部学生課単位認定試験係必着（〒261-8586 千葉市美浜区若葉2-11）

※住所変更手続きだけでは受験センターの変更はできません。
受験センター変更をご希望の方は、上記の方法で必ず受付期間内に手続きをしてください。

各種証明書の発行について（詳細「学生生活の栞」教養学部版P 10 5、大学院版P 9 0参照）

証明書の発行を希望の際は、「学生生活の栞」巻末様式の『諸証明書交付願』に所要事項を記入のうえ、発行手数料（1通につき200円）を添えてお申込みください。

郵送にてお申込みの方は、①『諸証明書交付願』 ②発行手数料（1通につき200円）③返信用封筒（長形3号、切手貼付、宛名明記）を青森 SC へお送りください。発行手数料については郵便定額小為替証書をご使用ください。

また、発行する証明書の数や種類によって重量が変動しますので、返信用封筒に貼付ける切手は94円以上をお勧めします。証明書の種類によっては発行まで2週間程度を要する場合があります。

※諸証明書発行については、「学生生活の栞」または「利用の手引き」にて詳細を必読のうえ申請してください。

再視聴施設をご利用ください

学習センターやサテライトスペースのほかにも、放送授業を再視聴できる施設を設けています。

青森市の青森市民図書館内「青森学習センターあおり校」と、むつ市のむつ市立図書館内「青森学習センターむつ校」です。お近くにお住まいの方は是非ご利用ください。

- 視聴はどなたでもできますが、教材の館外貸出は放送大学生に限りです。再視聴施設では、当面は教材の貸出を続けております。
- ご利用の際は、各図書館の利用案内に従ってください。また、利用の際には学生証をお持ちください。
- 上記再視聴施設では、学習相談や各種手続き等は受け付けておりません。
- 再視聴施設へのご要望・放送教材のリクエスト希望については、青森学習センターへお寄せください。



お知らせに放送大学をご紹介します!!

出願期間は第1回が11月26日~2月29日、第2回が3月1日~3月17日です。

2020年度第1学期入学の学生募集が始まります。

皆様のお近くにおられる友人や知人に放送大学の入学をおすすめくださいますよう、ご協力をお願いいたします。

放送大学学生募集要項などは青森学習センター、八戸サテライトスペースに用意しております。必要部数を事務室までお知らせください。わかりにくいところは青森学習センターに問い合わせくださるよう、お伝えください!!

青森学習センター	〒036-8561 青森県弘前市文京町3 コラボ弘大7階 TEL: 0172-38-0500 FAX: 0172-38-1299 Twitter: @aomoricenter
八戸サテライトスペース	〒039-1102 青森県八戸市一番町1-9-22 ユートリー4階 TEL: 0178-70-1663 FAX: 0178-70-1667
青森学習センターむつ校	〒035-0073 青森県むつ市中央2-3-10 むつ市立図書館内 TEL: 0175-28-3500 FAX: 0175-28-3400 (※視聴・貸出のみ対応)
青森学習センターあおり校	〒030-0801 青森県青森市新町1-3-7 青森市民図書館内(アウガ8階) TEL: 017-776-2455 FAX: 017-776-2400 (※視聴・貸出のみ対応)
放送大学ホームページ	https://www.ouj.ac.jp/

